

中韓など伸び2ケタ

経済波及効果 1兆3600億円

国際観光振興機構（J

NTO）によると、二〇

〇七年に日本を訪れた外国人旅行者数は前年比一四％増の八百三十四万九千人（推計）となり、四年連続で過去最高を更新した。地域への経済波及

効果も大きくなっており、国土交通省によれば、海外からの旅行者が日本で使ったおカネは旅行代や宿泊、買い物などを含

め〇六年度で推定一兆三千六百億円に達した。

特に日本への旅行者が増えているのが韓国。日本での買い物やゴルフが人気を集め、〇七年は前年比二三％増の二百六十万となった見込みだ。航空便が増える中国からは同一六％増の九十四万人が来日。日本文化に対する関心が高まるフランスなど欧州からの旅行者も拡大した。

小泉政権時代に打ち出された「二〇年に一千万人」という政府目標の達成に向け成果をあげているが、新興国の経済成長や対円でのユーロ、アジア通貨の上昇など外部環境の好転という追い風による部分も大きい。

一過性のブームに終わらせず、海外からの訪日客を増やし続けるには外国人旅行者の受け入れ体制の整備を引き続き進めることが不可欠。JTBが旅館・ホテル向けに電話での通訳サービスを提携するなど、民の力を最大限に生かせるかが成否のカギを握る。